



本田技研工業株式会社

Urban SUV concept

2013年1月31日

2012年度 第3四半期 決算説明会

代表取締役 副社長執行役員

岩村 哲夫

取締役 専務執行役員 事業管理本部長

池 史彦

執行役員 経理部長

竹内 弘平

財務部長

廣田 和久

2012年度 第3四半期決算 および 通期業績見通し

取締役 専務執行役員 事業管理本部長

池 史彦

- 2012年度 第3四半期 連結決算概要
- 2012年度 業績見通し
- 配当

執行役員 経理部長

竹内 弘平

- 2012年度 第3四半期決算

売上高事業別増減
税引前利益増減要因
事業別セグメント情報
所在地別セグメント情報
関連会社持分利益
設備投資

- 2012年度 業績見通し

2012年度 第3四半期 連結決算概要

Hondaグループ販売台数 (連結売上台数) (千台)	第3四半期(3ヵ月間)		
	2011年度 実績	2012年度 実績	増減率
二輪事業	3,609 (2,031)	3,815 (2,350)	+ 5.7% (+ 15.7%)
四輪事業	783 (622)	986 (841)	+ 25.9% (+ 35.2%)
汎用パワープロダクツ 事業	1,021 (1,021)	1,195 (1,195)	+ 17.0% (+ 17.0%)

損益状況 (億円)	第3四半期(3ヵ月間)		
	2011年度 実績	2012年度 実績	増減率
売上高	19,425	24,257	+ 24.9%
営業利益	442	1,319	+ 197.8%
税引前利益	584	897	+ 53.5%
関連会社持分利益	229	214	- 6.5 %
当社株主に帰属する 四半期純利益	476	774	+ 62.5%

1株当たり当社株主に 帰属する四半期純利益	26.45 円	42.97 円	+ 16.52 円
--------------------------	---------	----------------	-----------

算定上の基礎となる株式数:

約1,802,300 千株
(期中平均株式数)

約1,802,298 千株
(期中平均株式数)

為替(売上)レート

米ドル	77 円	81 円	4 円 円安
ユーロ	105 円	106 円	1 円 円安

業績総括

タイの洪水被害からの回復に加え、
新車投入効果等から
北米を中心に四輪車販売が好調に推移
営業利益は1,319億円と前年同期比197.8%
の大幅な増益となった

業績ハイライト

Hondaグループ販売台数

二輪事業:

アジア地域で増加、南米地域(主にブラジル)で減少

四輪事業:

北米、アジア地域を中心に増加

汎用パワープロダクツ事業:

北米、アジア地域やその他地域での増加

売上高

- ・タイ洪水影響からの回復や新車効果による
四輪事業での台数増加および為替影響による増加

営業利益

- ・四輪事業での売上台数増加
- ・増産に伴う固定費影響
- ・コストダウン効果
- ・円安による為替影響

などにより前年比197.8%の大幅増益

2012年度 第3四半期 連結決算概要

Hondaグループ販売台数 (連結売上台数) (千台)	第3四半期(3ヵ月間)		
	2011年度 実績	2012年度 実績	増減率
二輪事業	3,609 (2,031)	3,815 (2,350)	+ 5.7% (+ 15.7%)
四輪事業	783 (622)	986 (841)	+ 25.9% (+ 35.2%)
汎用パワープロダクツ 事業	1,021 (1,021)	1,195 (1,195)	+ 17.0% (+ 17.0%)

損益状況 (億円)	第3四半期(3ヵ月間)		
	2011年度 実績	2012年度 実績	増減率
売上高	19,425	24,257	+ 24.9%
営業利益	442	1,319	+ 197.8%
税引前利益	584	897	+ 53.5%
関連会社持分利益	229	214	- 6.5 %
当社株主に帰属する 四半期純利益	476	774	+ 62.5%

1株当たり当社株主に 帰属する四半期純利益	26.45 円	42.97 円	+ 16.52 円
--------------------------	---------	----------------	-----------

算定上の基礎となる株式数:

約1,802,300 千株
(期中平均株式数)

約1,802,298 千株
(期中平均株式数)

為替(売上)レート

米ドル	77 円	81 円	4 円 円安
ユーロ	105 円	106 円	1 円 円安

第3四半期累計(9ヵ月間)		
2011年度 実績	2012年度 実績	増減率
10,897 (6,167)	11,532 (7,020)	+ 5.8% (+ 13.8%)
2,086 (1,651)	2,981 (2,506)	+ 42.9% (+ 51.8%)
3,809 (3,809)	4,108 (4,108)	+ 7.8% (+ 7.8%)

第3四半期累計(9ヵ月間)		
2011年度 実績	2012年度 実績	増減率
55,430	71,329	+ 28.7%
1,193	4,088	+ 242.4%
1,643	3,908	+ 137.8%
671	696	+ 3.8%
1,398	2,913	+ 108.3%

77.62 円	161.68 円	+ 84.06 円
---------	-----------------	-----------

約1,802,300千株
(期中平均株式数)

約1,802,299 千株
(期中平均株式数)

78 円	80 円	2 円 円安
110 円	103 円	7 円 円高

2012年度 通期 連結業績見通し

(億円)

	2011年度 実績	2012年度 (見通し)	増減		前回見通しからの 増減額
			額	率	
売上高	79,480	98,000	+ 18,519	+ 23.3%	-
営業利益	2,313	5,200	+ 2,886	+ 124.8%	-
税引前利益	2,574	5,150	+ 2,575	+ 100.1%	- 250
関連会社持分利益	1,004	800	- 204	- 20.3%	-
当社株主に帰属する 当期純利益	2,114	3,700	+ 1,585	+ 75.0%	- 50
1株当たり当社株主に 帰属する当期純利益	117.34 円	205.29 円	+ 87.95 円		

算定上の基礎となる株式数： 約1,802,300千株
(期中平均株式数)

約1,802,298千株
(期中平均株式数)

為替(売上)レート

米ドル	79 円	81 円 (上期 79 円/下期 83 円)	2 円 円安	1 円 円安
ユーロ	108 円	105 円 (上期 101 円/下期 108 円)	3 円 円高	2 円 円安

(円)

1株当たり配当金	2011年度	2012年度 (予想)	対2011年度 増減額
第1四半期末配当金	15	19	+ 4
第2四半期末配当金	15	19	+ 4
第3四半期末配当金	15	19	+ 4
期末配当金	15	(19)	(+ 4)
年間配当金	60	(76)	(+ 16)

2012年度 第3四半期決算 および 通期業績見通し

取締役 専務執行役員 事業管理本部長

池 史彦

- ・ 2012年度 第3四半期 連結決算概要
- ・ 2012年度 業績見通し
- ・ 配当

執行役員 経理部長

竹内 弘平

- ・ 2012年度 第3四半期決算

売上高事業別増減

税引前利益増減要因

事業別セグメント情報

所在地別セグメント情報

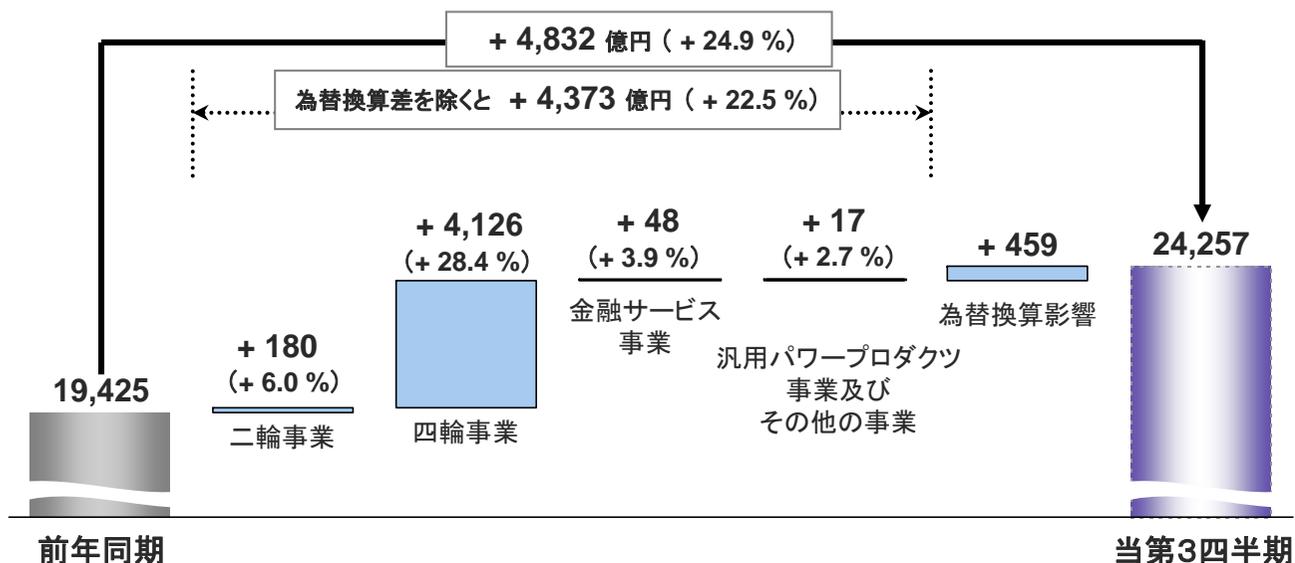
関連会社持分利益

設備投資

- ・ 2012年度 業績見通し

2012年度 第3四半期 売上高事業別増減

第3四半期 (3ヵ月)



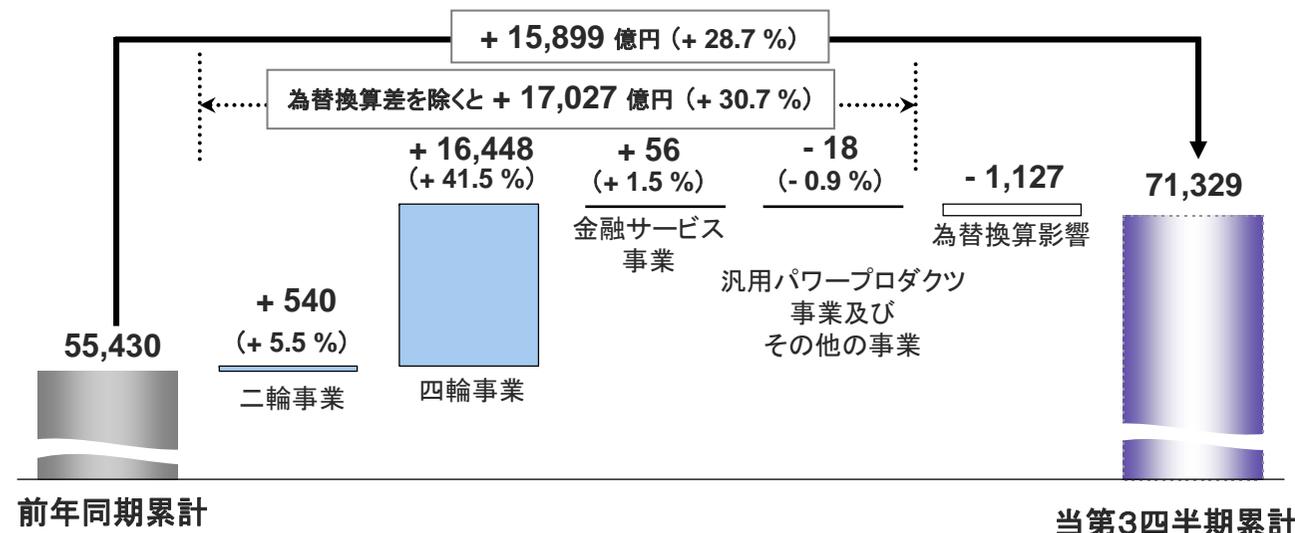
(億円)

売上高 事業別内訳	第3四半期	
	2011年度 実績	2012年度 実績
二輪事業	3,025	3,078
四輪事業	14,510	19,155
金融サービス事業	1,248	1,353
汎用パワープロダクツ事業 及びその他の事業	640	670
合計	19,425	24,257

(ご参考) 期中平均レート

米ドル	77円	81円
ユーロ	104円	105円
※リアル	46円	38円

第3四半期累計 (9ヵ月)



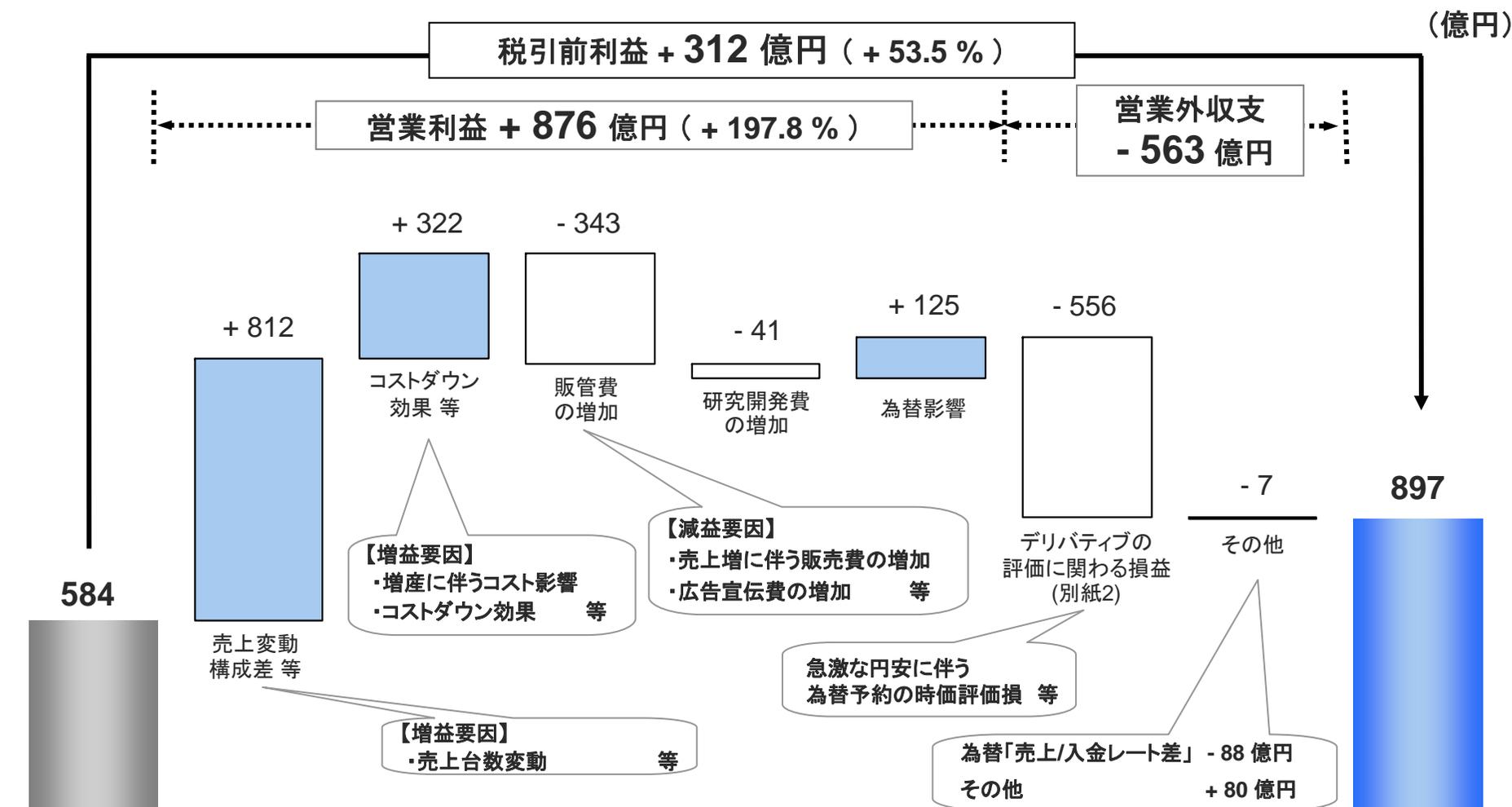
(億円)

売上高 事業別内訳	第3四半期累計	
	2011年度 実績	2012年度 実績
二輪事業	9,902	9,641
四輪事業	39,610	55,722
金融サービス事業	3,871	3,970
汎用パワープロダクツ事業 及びその他の事業	2,046	1,995
合計	55,430	71,329

(ご参考) 期中平均レート

米ドル	79円	80円
ユーロ	111円	102円
※リアル	49円	41円

2012年度 第3四半期 税引前利益増減要因



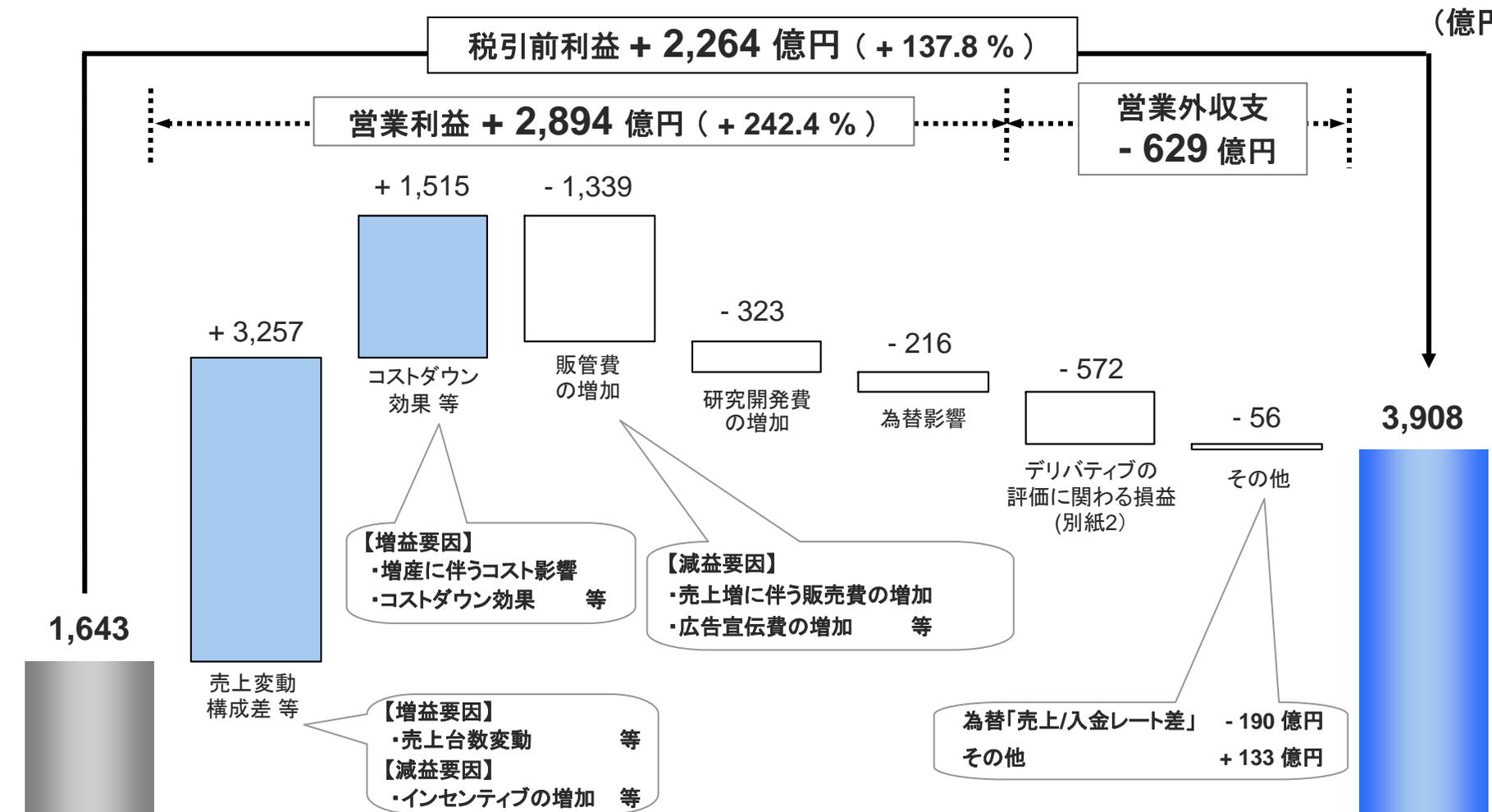
営業利益
442
前年同期
(3カ月間)

営業利益
1,319
当第3四半期
(3カ月間)

*為替換算差については別紙1をご覧ください

2012年度 第3四半期累計 税引前利益増減要因

(億円)



営業利益
1,193
前年同期
累計
(9カ月間)

営業利益
4,088
当第3四半期
累計
(9カ月間)

*為替換算差については別紙1をご覧ください

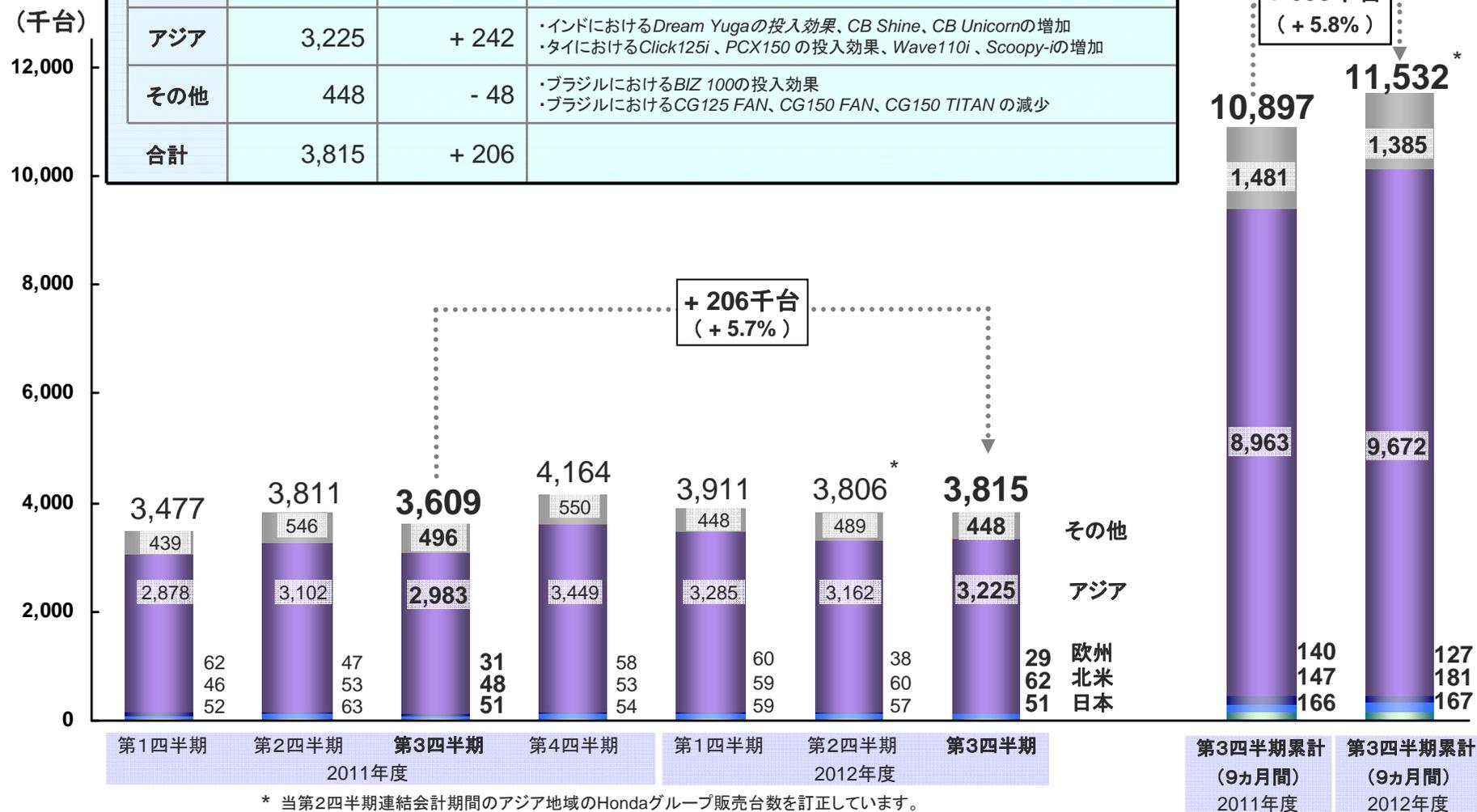
【 二輪事業(二輪車 + ATV 等) 】 Hondaグループ販売台数

(千台)	2012年度 第3四半期	対前年同期増減	主な増減内容
日本	51	0	・PCX150、NC700S、NC700Xの投入効果 ・ジョルノ、トゥデイなどのスクーターモデルの減少
北米	62	+ 14	・米国におけるCRF110F、CRF250L、NC700Xの投入効果、CBR250Rの増加 ・米国におけるFourTrax Foreman、FourTrax Rancherなどの減少
欧州	29	- 2	・NC700S、NC700X、SHシリーズの投入効果 ・イタリアにおけるスクーター販売の減少
アジア	3,225	+ 242	・インドにおけるDream Yugaの投入効果、CB Shine、CB Unicornの増加 ・タイにおけるClick125i、PCX150の投入効果、Wave110i、Scoopy-iの増加
その他	448	- 48	・ブラジルにおけるBIZ 100の投入効果 ・ブラジルにおけるCG125 FAN、CG150 FAN、CG150 TITANの減少
合計	3,815	+ 206	



Dream Yuga (インド)

+ 635千台
(+ 5.8%)

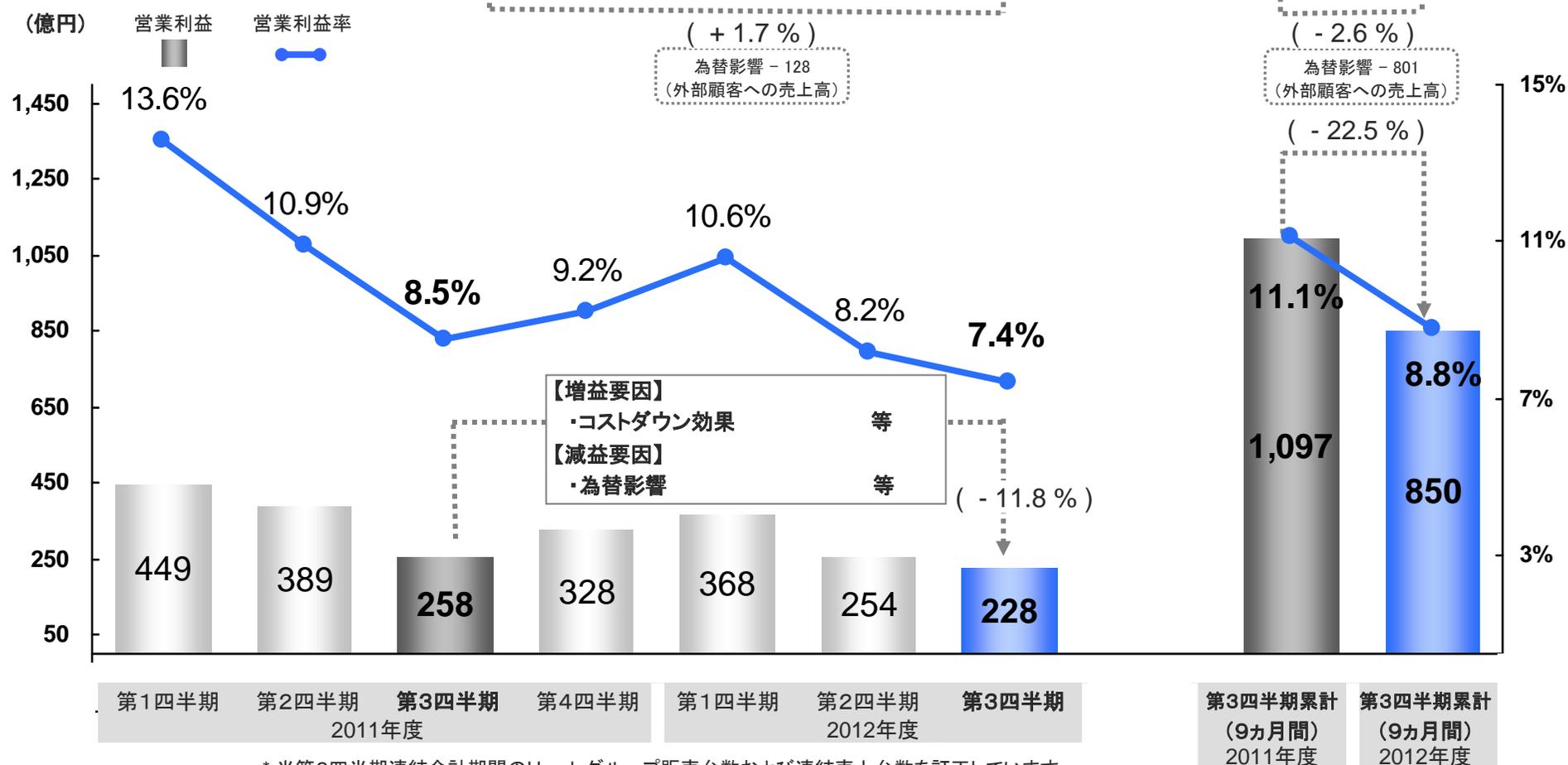


* 当第2四半期連結会計期間のアジア地域のHondaグループ販売台数を訂正しています。当該訂正により、Hondaグループ販売台数が73千台減少しています。当第3四半期連結累計期間のHondaグループ販売台数は当該訂正を含めています。

(千台)/(億円)

	2011年度				2012年度		
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	第1四半期	第2四半期	第3四半期
Honda グループ販売台数 (連結売上台数)	3,477 (1,949)	3,811 (2,187)	3,609 (2,031)	4,164 (2,483)	3,911 (2,366)	3,806* (2,304)	3,815 (2,350)
売上高	3,303	3,573	3,025	3,585	3,466	3,097	3,078

2011年度 第3四半期累計 (9カ月間)	2012年度 第3四半期累計 (9カ月間)
10,897 (6,167)	11,532* (7,020)
9,902	9,641



* 当第2四半期連結会計期間のHondaグループ販売台数および連結売上台数を訂正しています。
当該訂正により、Hondaグループ販売台数および連結売上台数が73千台減少しています。
当第3四半期連結累計期間のHondaグループ販売台数および連結売上台数は当該訂正を含めています。

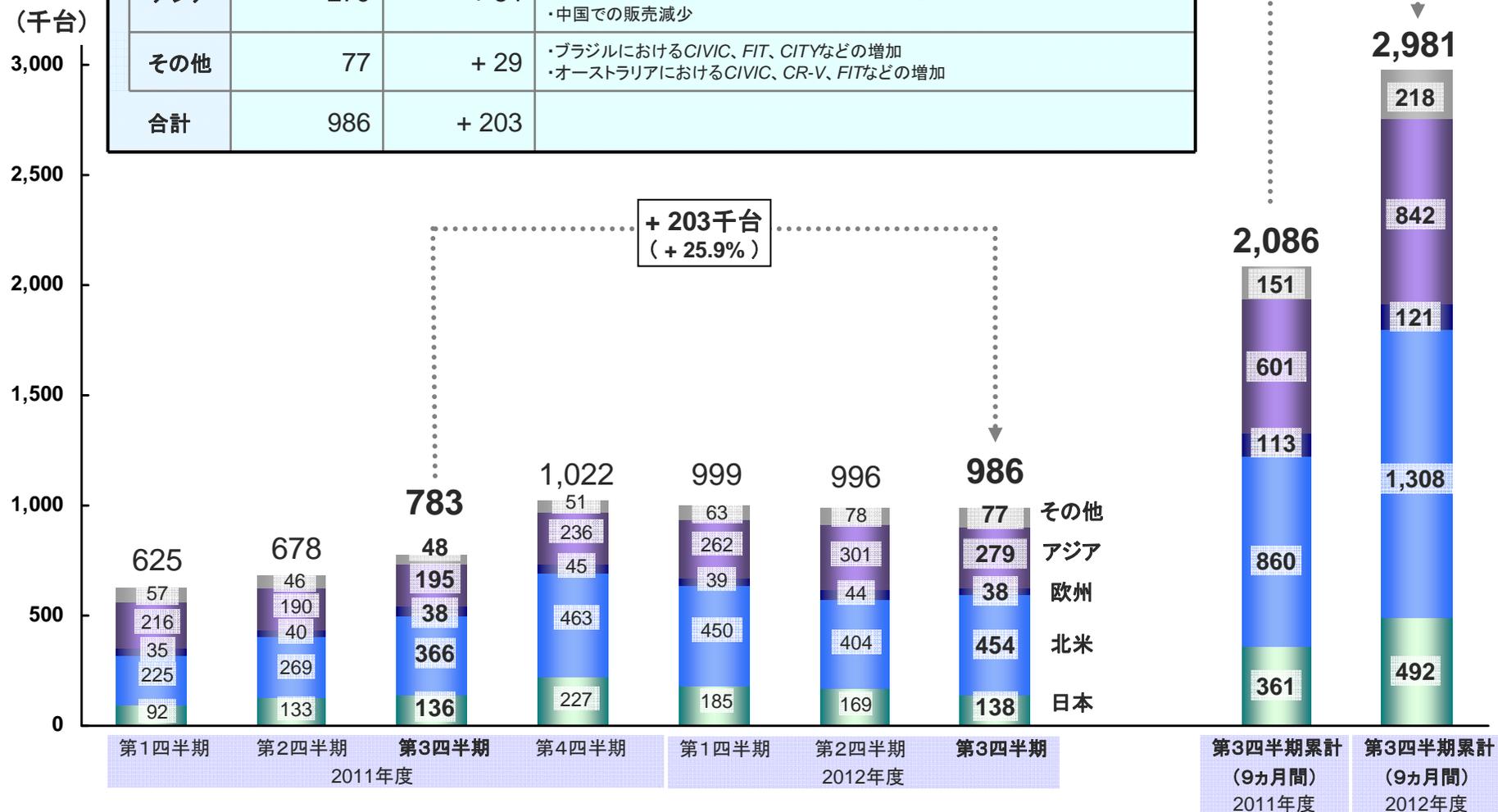
【 四輪事業 】 Hondaグループ販売台数

(千台)	2012年度 第3四半期	対前年同期増減	主な増減内容
日本	138	+ 2	・N-BOXの増加、N-ONE、N-BOX+の投入効果 ・FIT、STEP WGNの減少
北米	454	+ 88	・ACCORD、CR-V、RDXの増加 ・ODYSSEY、TLの減少
欧州	38	0	・新型CR-Vの投入効果 ・ドイツ、スペインなどにおけるJAZZの減少
アジア	279	+ 84	・タイにおけるCITY、FIT、CIVIC、BRIOなどの増加 ・インドネシアにおけるBRIO、FREED、CR-Vの増加 ・中国での販売減少
その他	77	+ 29	・ブラジルにおけるCIVIC、FIT、CITYなどの増加 ・オーストラリアにおけるCIVIC、CR-V、FITなどの増加
合計	986	+ 203	



Accord (北米)

+ 895千台
(+ 42.9%)



(千台)/(億円)

Honda グループ販売台数 (連結売上台数)	2011年度				2012年度		
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	第1四半期	第2四半期	第3四半期
	625 (458)	678 (571)	783 (622)	1,022 (831)	999 (849)	996 (816)	986 (841)
売上高	11,788	13,371	14,556	18,511	18,947	17,697	19,184

2011年度 第3四半期累計 (9カ月間)	2012年度 第3四半期累計 (9カ月間)
2,086 (1,651)	2,981 (2,506)
39,716	55,829

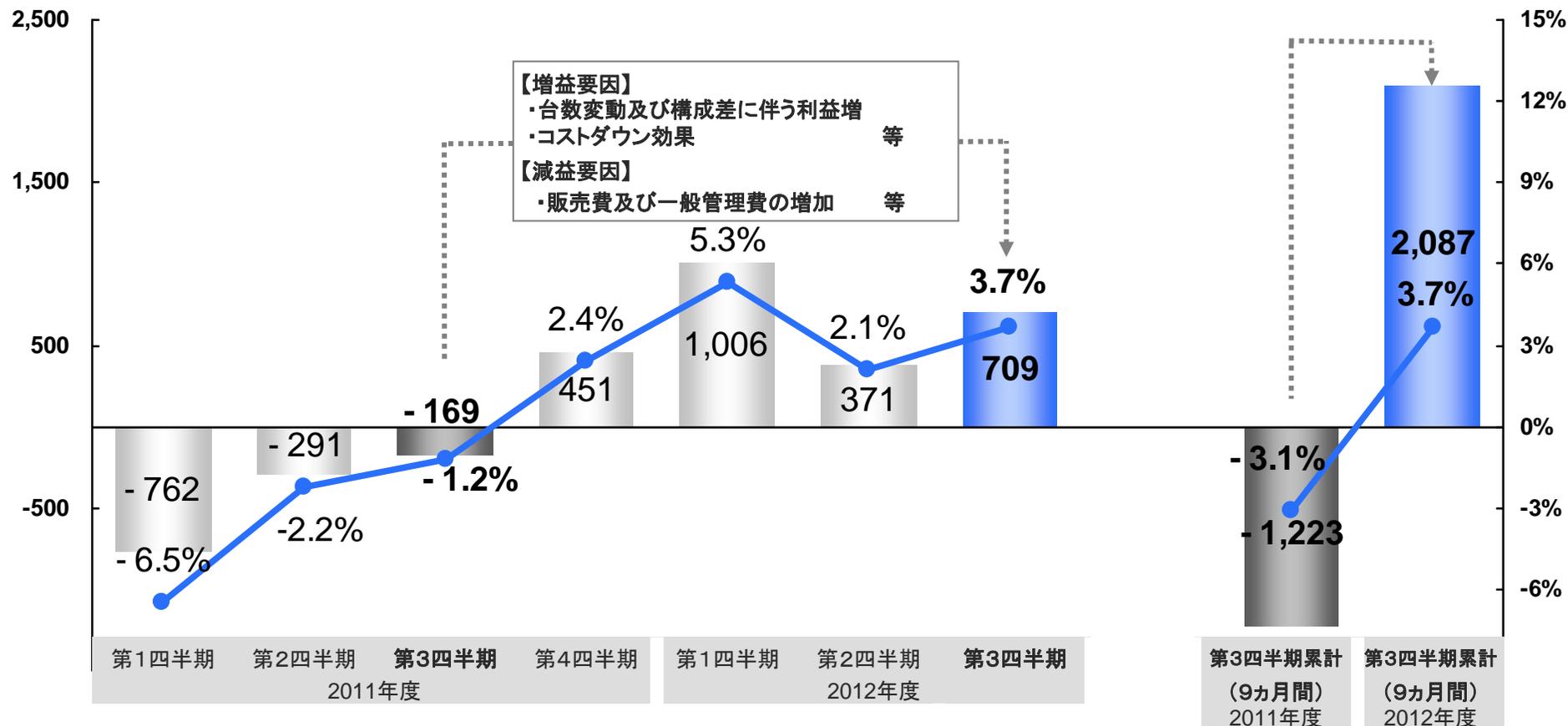
(億円) 営業利益 営業利益率

(+ 31.8 %)

為替影響 + 518
(外部顧客への売上高)

(+ 40.6 %)

為替影響 - 336
(外部顧客への売上高)



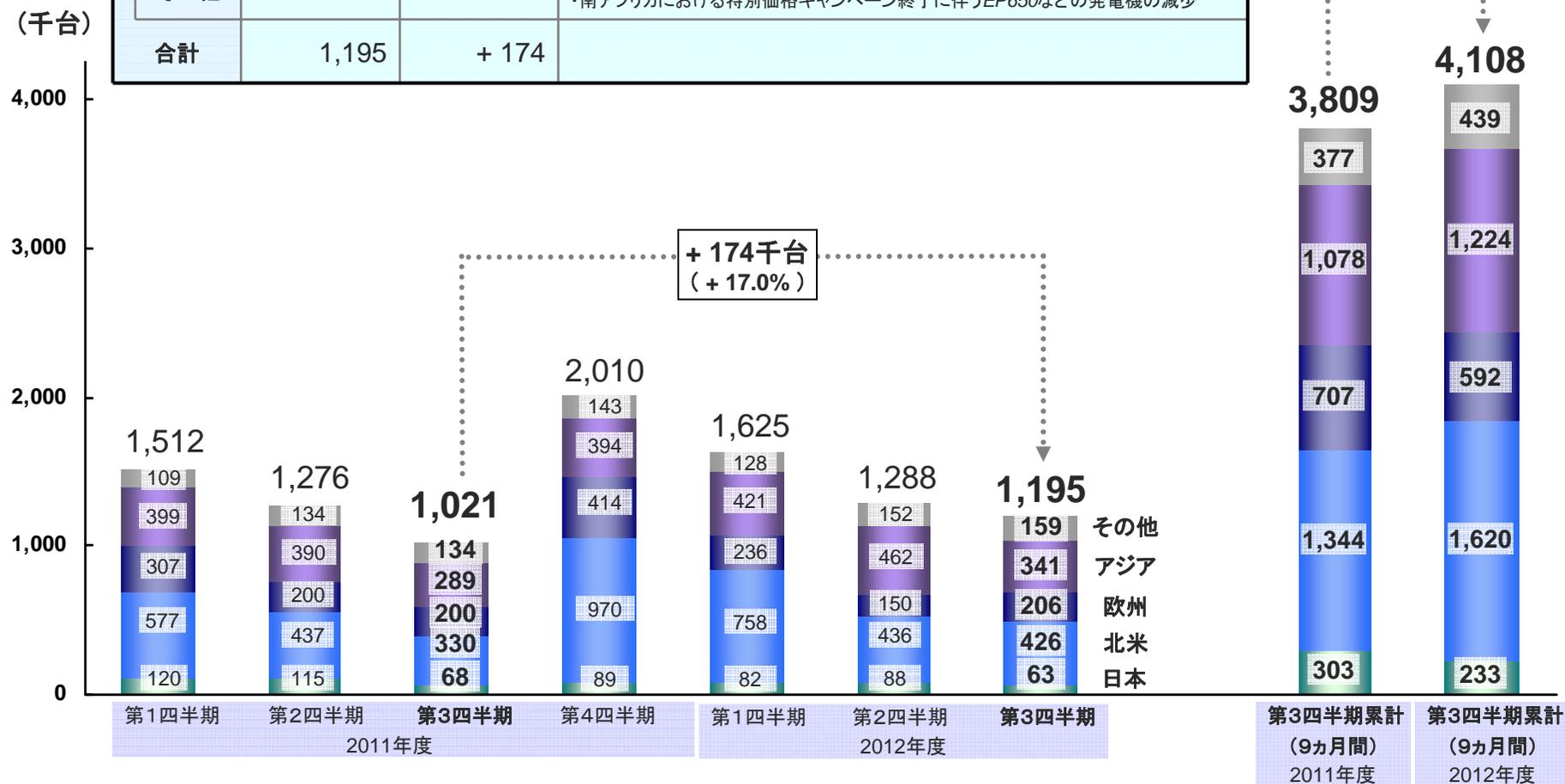
【 汎用パワープロダクツ事業 】 Hondaグループ販売台数

(千台)	2012年度 第3四半期	対前年同期増減	主な増減内容
日本	63	- 5	・多雪に伴う除雪機HSS1170などの増加 ・発電機需要の縮小に伴う、EU16IK1などの減少
北米	426	+ 96	・OEM向け汎用エンジンの需要増に伴うGC/V、M4の増加 ・ハリケーン影響による長期的な停電に伴う発電機EU2000i、EU3000ISの増加
欧州	206	+ 6	・OEM向けエンジンGCV135・GCV160の増加 ・F220、FG205などの耕うん機の減少
アジア	341	+ 52	・タイにおける刈払機UMK435の増加 ・販売店拡大に伴うインドネシアにおけるポンプ WB20、WB30の増加 ・中国におけるOEM向け汎用エンジンの需要拡大に伴う、GX160などのエンジンの増加
その他	159	+ 25	・サウジアラビアにおけるポンプ WB20の増加 ・南アフリカにおける特別価格キャンペーン終了に伴うEP650などの発電機の減少
合計	1,195	+ 174	



EU2000i (発電機)

+ 299千台
(+ 7.8%)



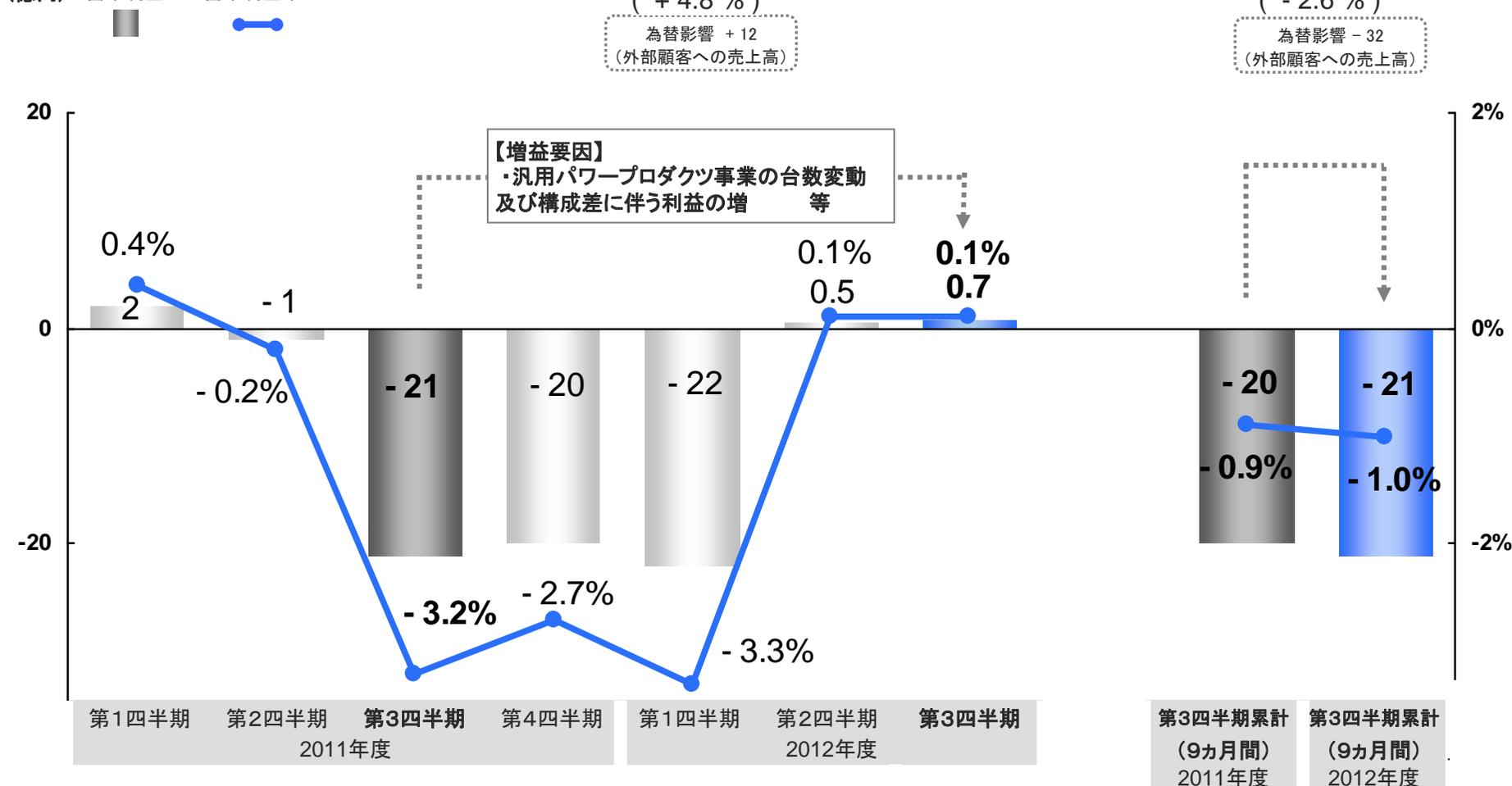
【 汎用パワープロダクツ事業及びその他の事業 】 売上高/営業利益(率)

(千台)/(億円)

Honda グループ販売台数 (連結売上台数)	2011年度				2012年度		
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	第1四半期	第2四半期	第3四半期
	1,512	1,276	1,021	2,010	1,625	1,288	1,195
	(1,512)	(1,276)	(1,021)	(2,010)	(1,625)	(1,288)	(1,195)
売上高	739	721	680	756	699	672	713

2011年度 第3四半期累計 (9カ月間)	2012年度 第3四半期累計 (9カ月間)
3,809 (3,809)	4,108 (4,108)
2,141	2,085

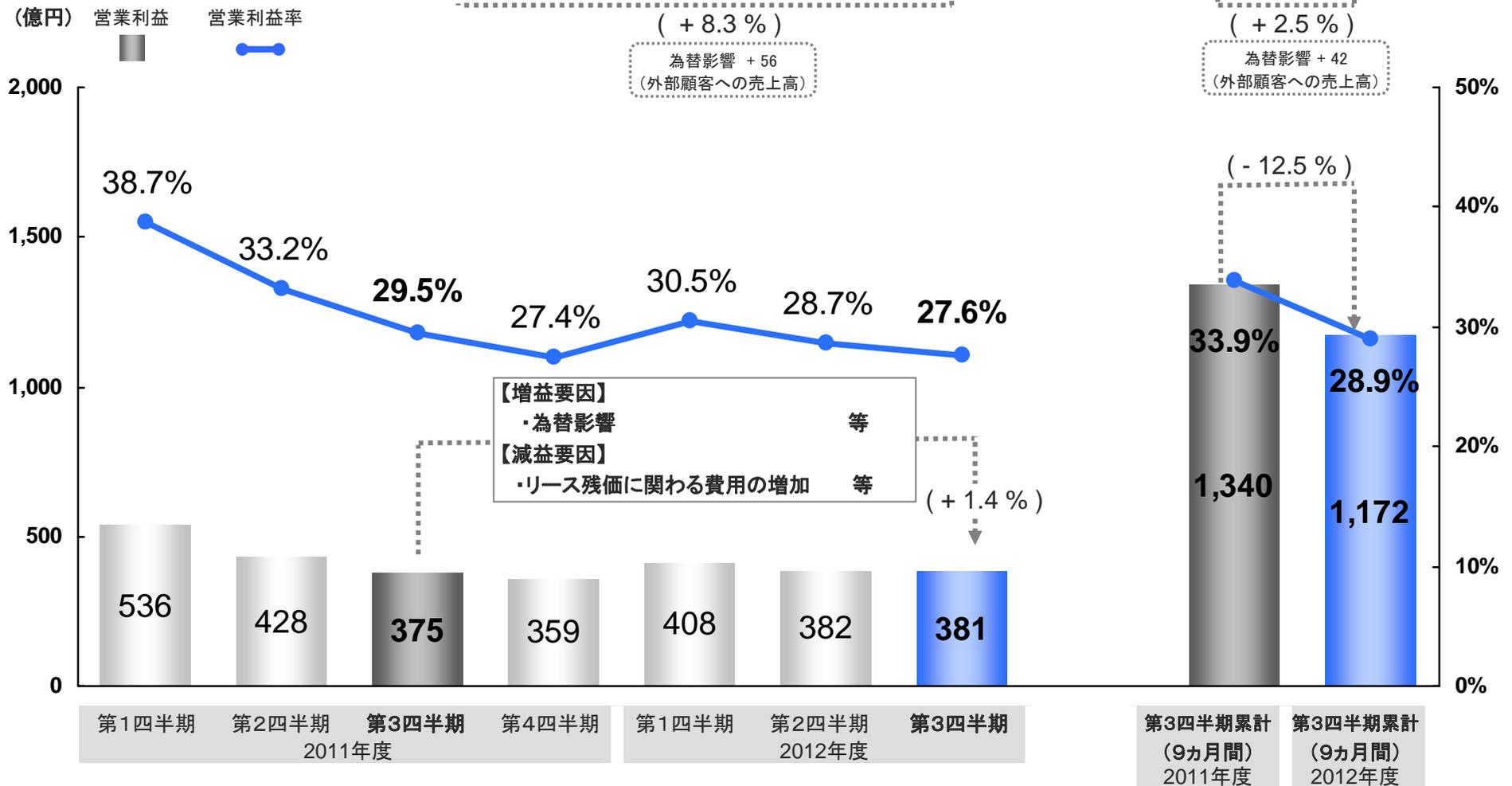
(億円) 営業利益 営業利益率

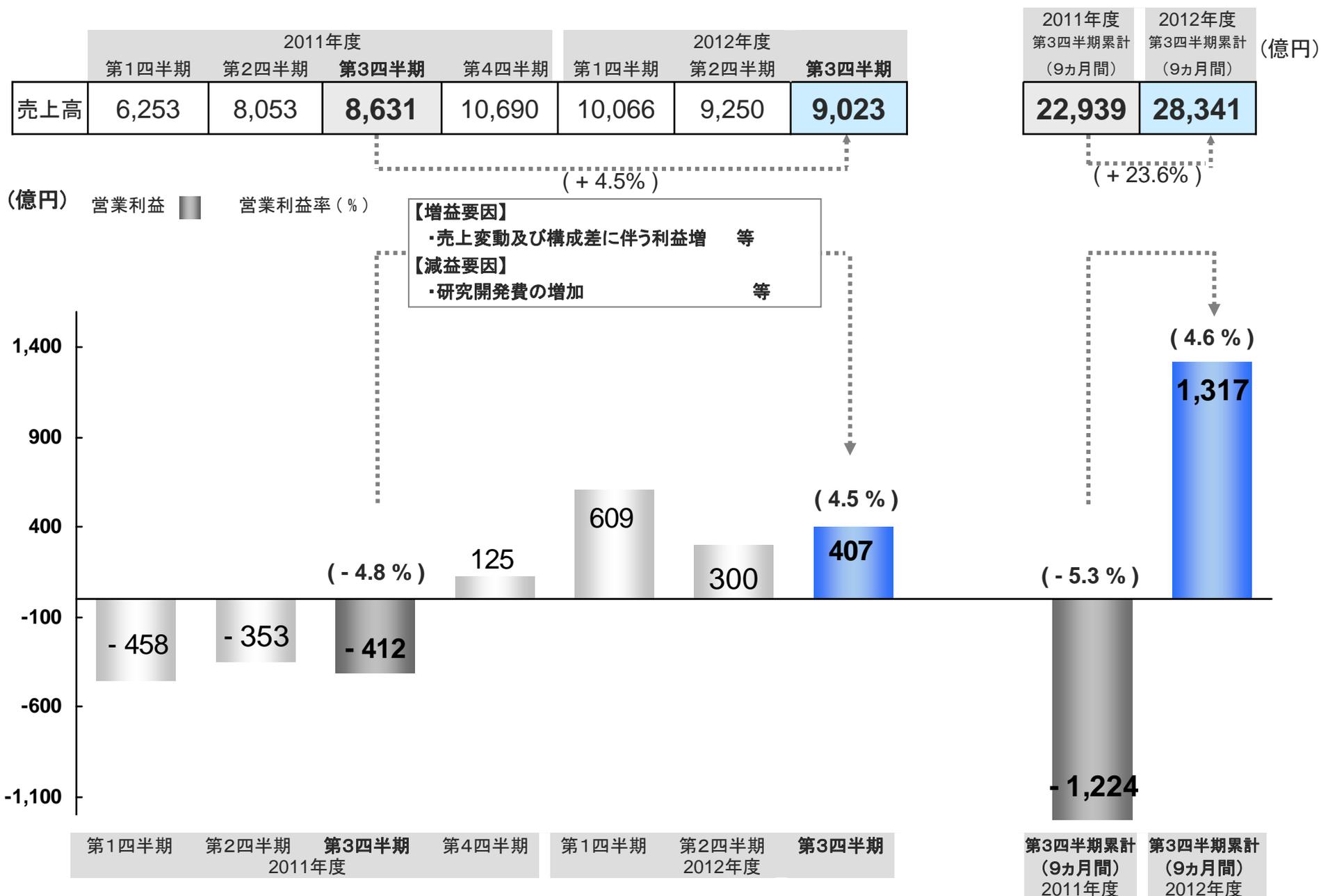


(億円)

	2011年度				2012年度		
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	第1四半期	第2四半期	第3四半期
金融子会社 資産合計	54,457	51,692	52,905	56,443	55,676	55,777	61,972
売上高	1,386	1,291	1,275	1,312	1,340	1,331	1,381

2011年度 第3四半期累計 (9ヵ月間)	2012年度 第3四半期累計 (9ヵ月間)
3,953	4,053





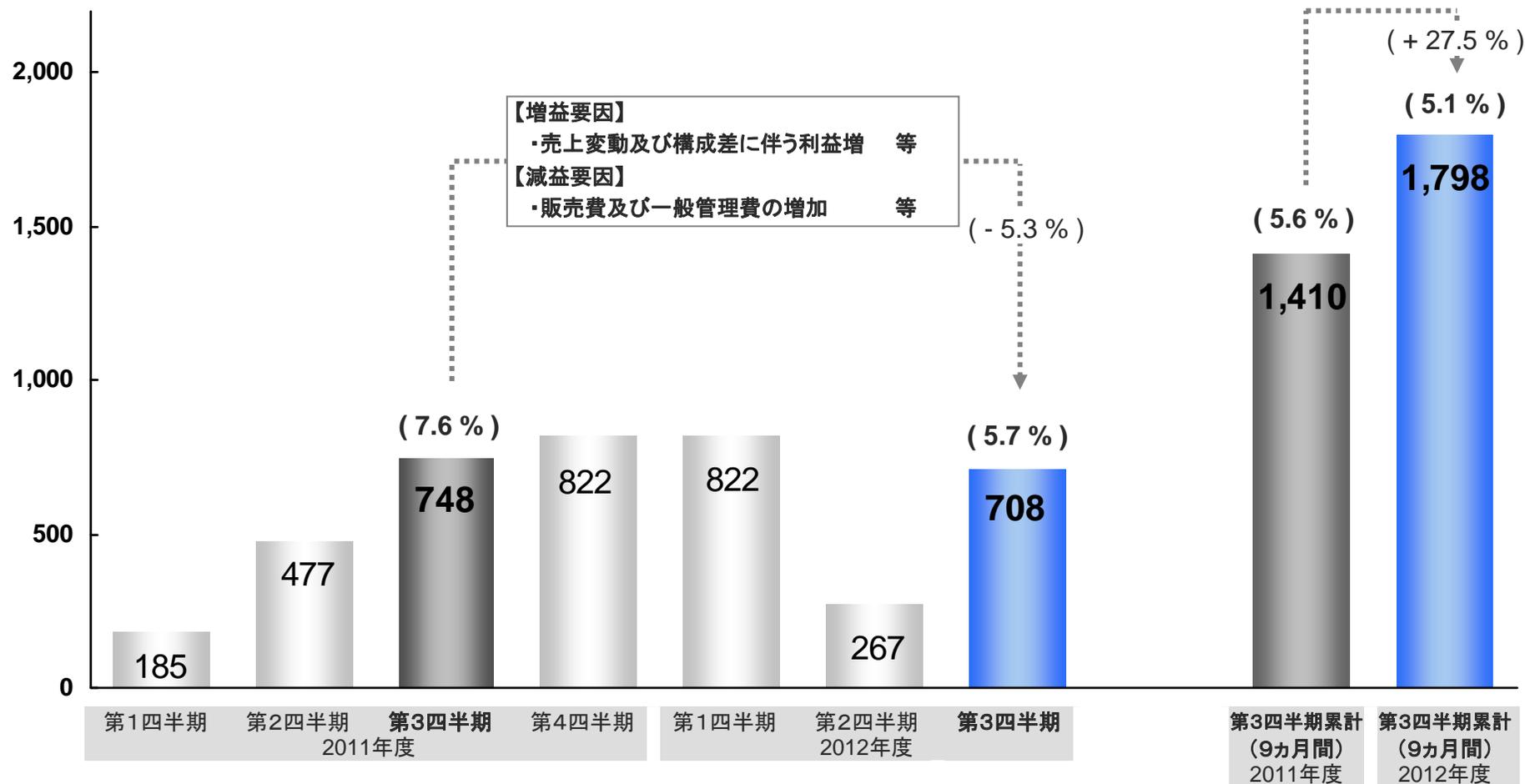
	2011年度				2012年度		
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	第1四半期	第2四半期	第3四半期
売上高	7,339	7,941	9,862	12,003	12,147	10,547	12,458

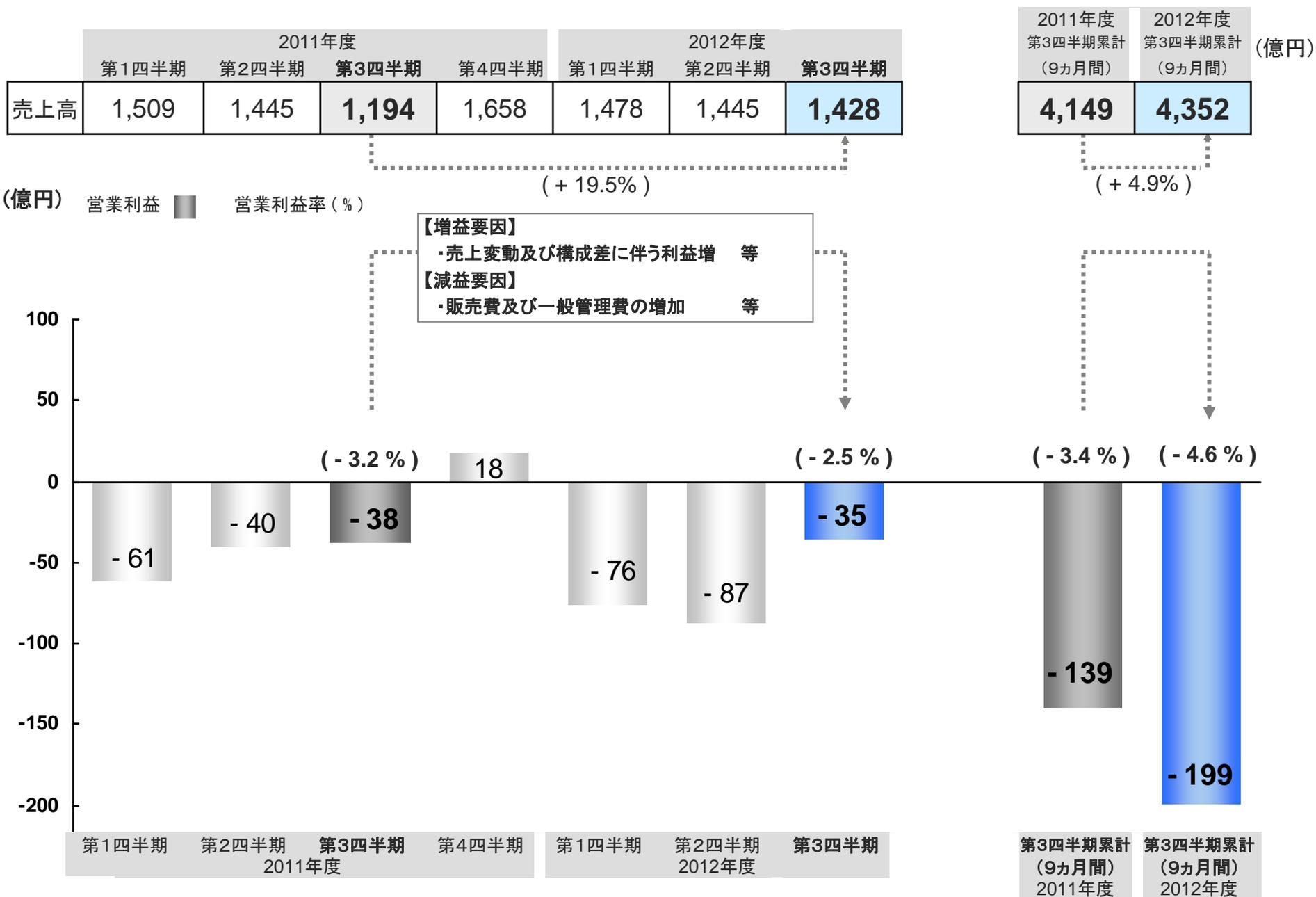
2011年度 第3四半期累計 (9ヵ月間)	2012年度 第3四半期累計 (9ヵ月間)
25,143	35,153

(億円) 営業利益 ■ 営業利益率(%)

(+ 26.3%)

(+ 39.8%)

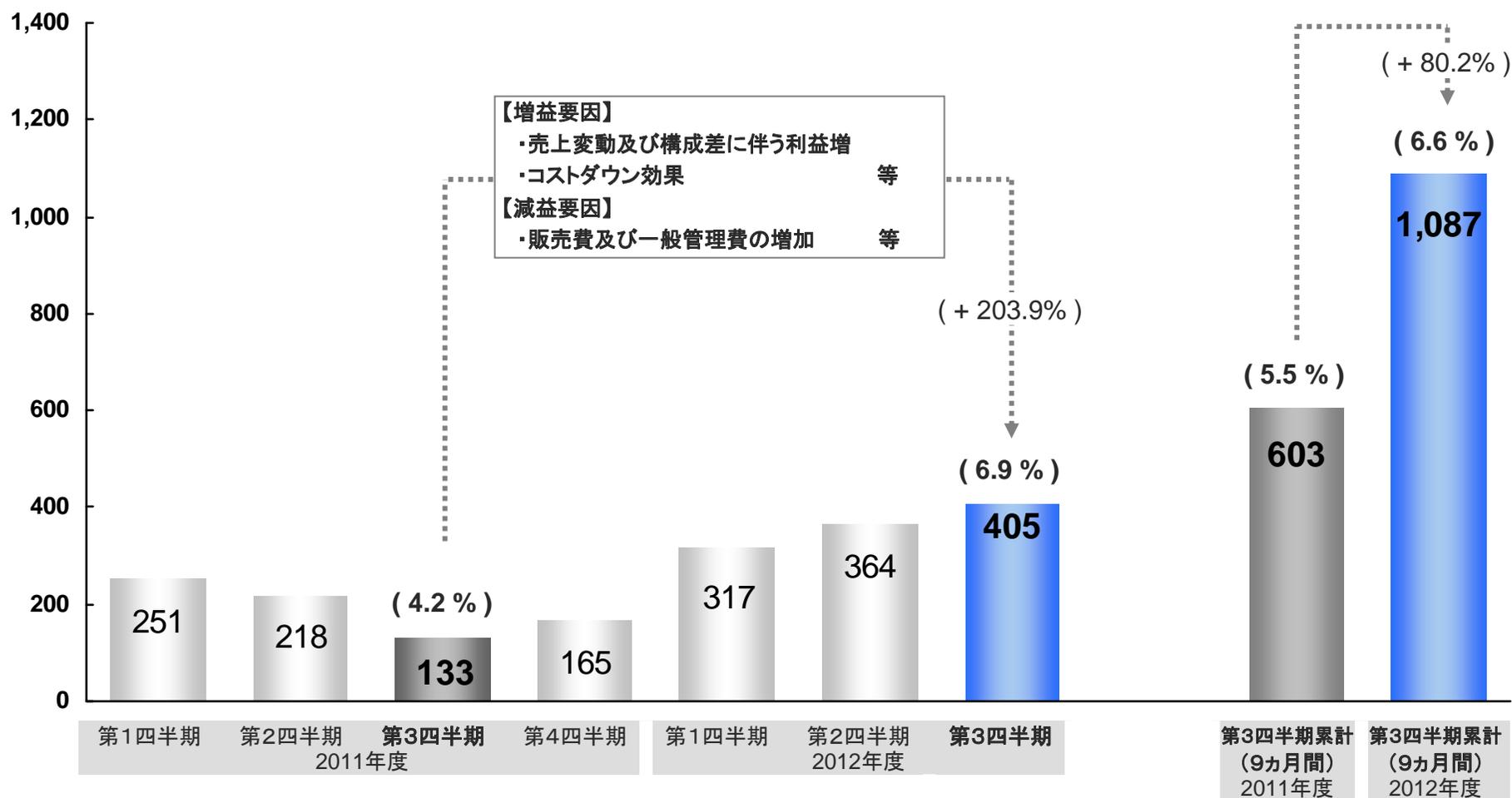




	2011年度				2012年度		
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	第1四半期	第2四半期	第3四半期
売上高	3,734	4,077	3,176	3,915	5,128	5,394	5,874

2011年度 第3四半期累計 (9ヵ月間)	2012年度 第3四半期累計 (9ヵ月間)
10,989	16,396

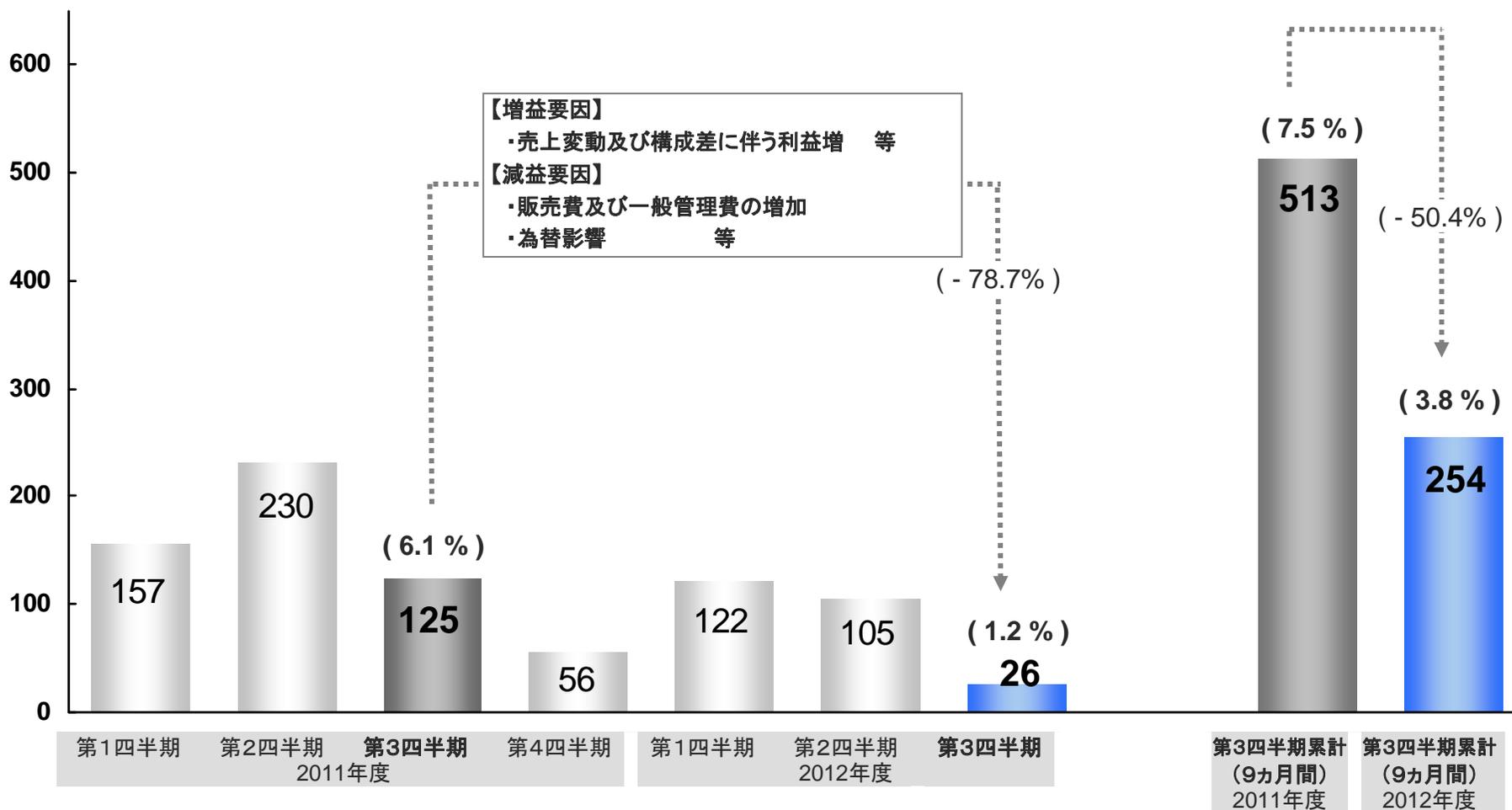
(億円) 営業利益 ■ 営業利益率(%)



	2011年度				2012年度		
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	第1四半期	第2四半期	第3四半期
売上高	2,299	2,443	2,061	2,126	2,203	2,296	2,225

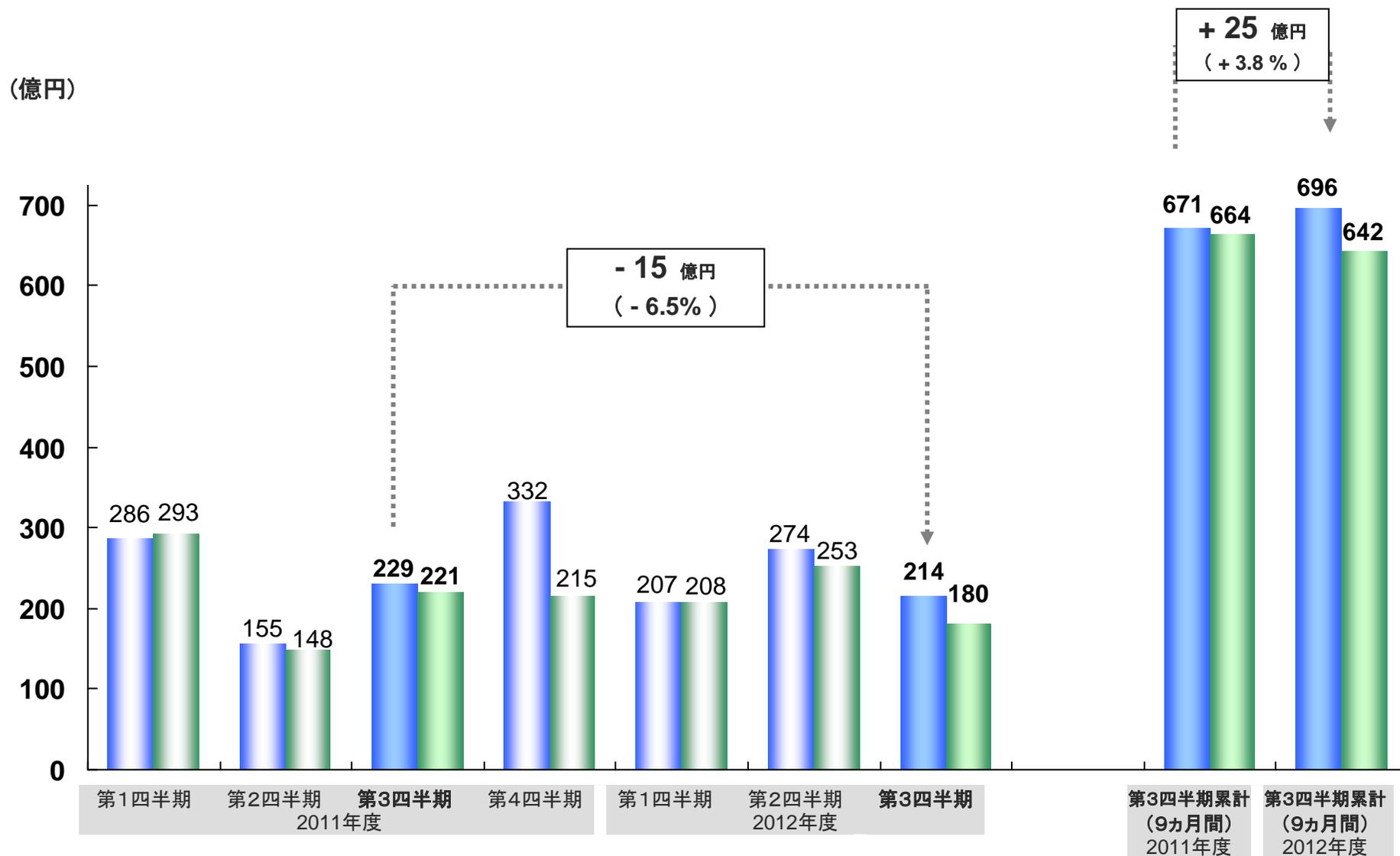
2011年度 第3四半期累計 (9ヵ月間)	2012年度 第3四半期累計 (9ヵ月間)
6,804	6,725

(億円) 営業利益 ■ 営業利益率(%)

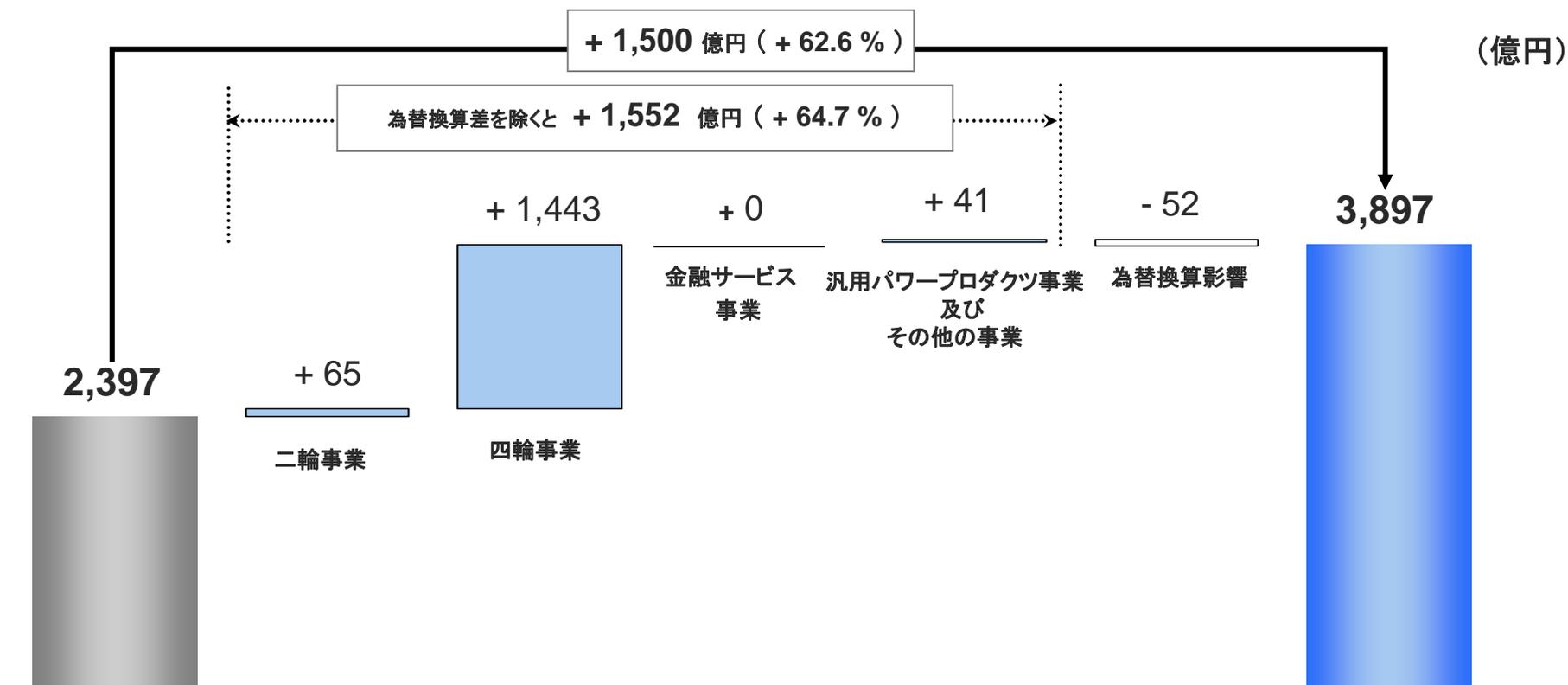


関連会社持分利益

合計 ■ アジア ■



2012年度 第3四半期累計 設備投資



前年同期

期中平均レート
1米ドル= 79 円
1ユーロ= 111 円

*オペレーティング・リース資産および無形固定資産に係る設備投資は、上記の実績には含まれておりません。

当第3四半期累計

期中平均レート
1米ドル= 80 円 (1 円 円安)
1ユーロ= 102円 (9 円 円高)
(億円)

	(億円)
二輪事業	394
四輪事業	1,941
金融サービス事業	1
汎用パワープロダクツ事業 及びその他の事業	60
合計	2,397

二輪事業	426
四輪事業	3,370
金融サービス事業	2
汎用パワープロダクツ事業 及びその他の事業	98
合計	3,897

2012年度 第3四半期決算 および 通期業績見通し

取締役 専務執行役員 事業管理本部長

池 史彦

- 2012年度 第3四半期 連結決算概要
- 2012年度 業績見通し
- 配当

執行役員 経理部長

竹内 弘平

- 2012年度 第3四半期決算

売上高事業別増減

税引前利益増減要因

事業別セグメント情報

所在地別セグメント情報

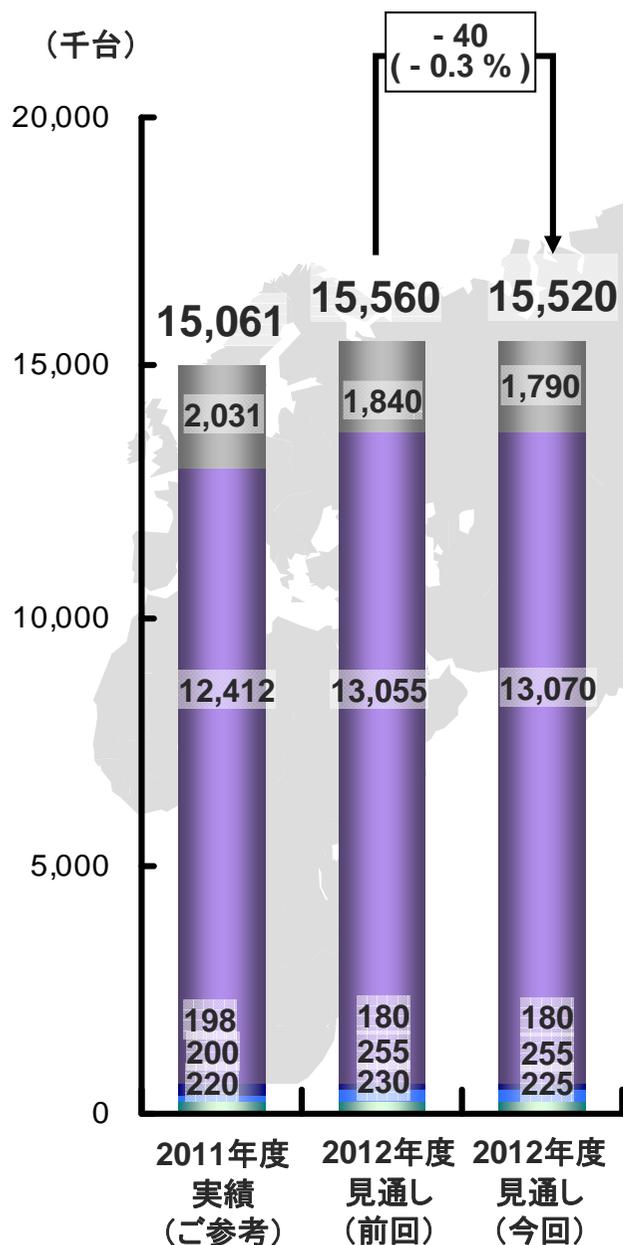
関連会社持分利益

設備投資

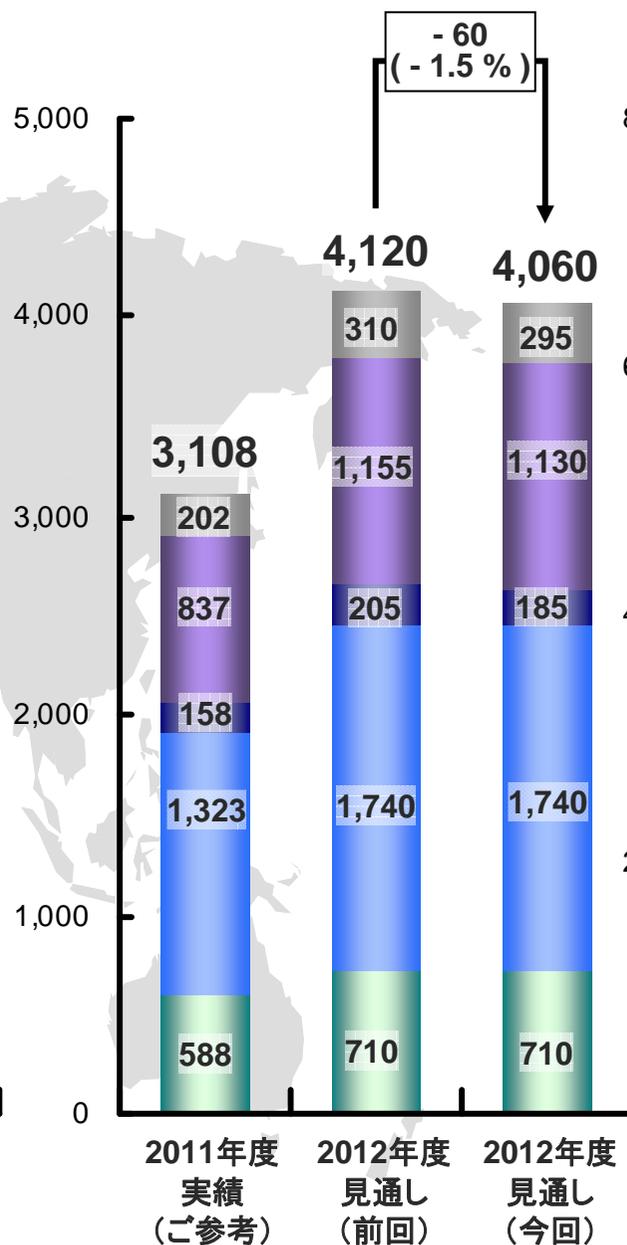
- 2012年度 業績見通し

Hondaグループ販売台数(見通し)

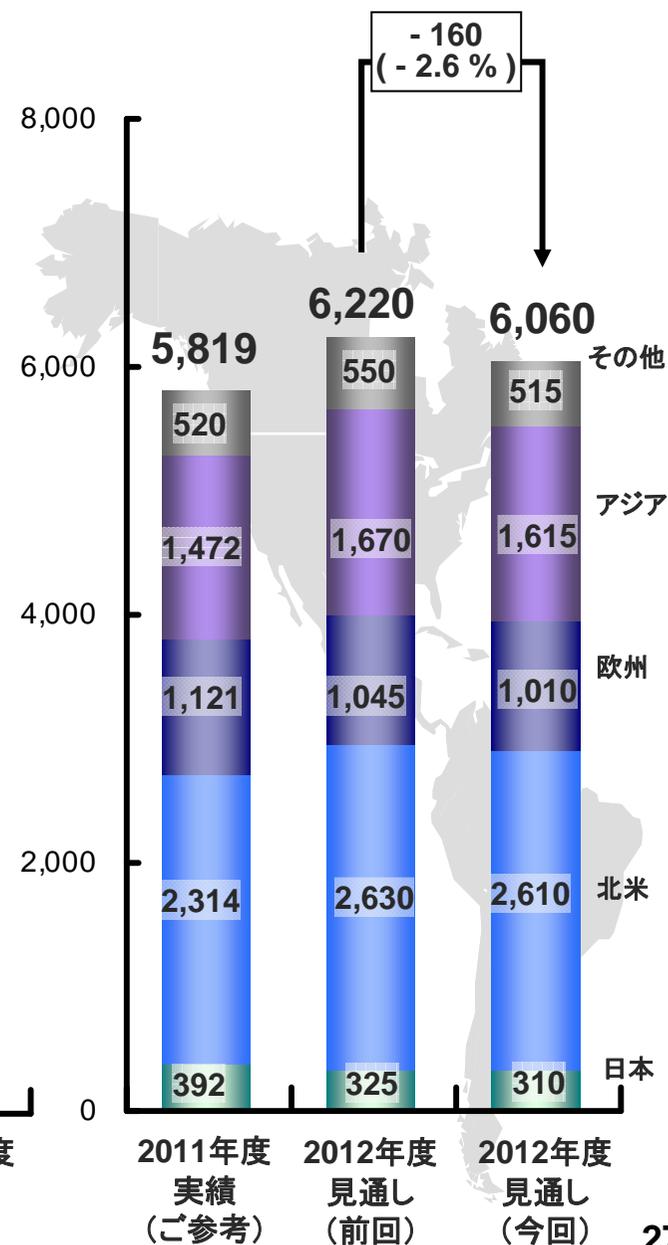
二輪事業



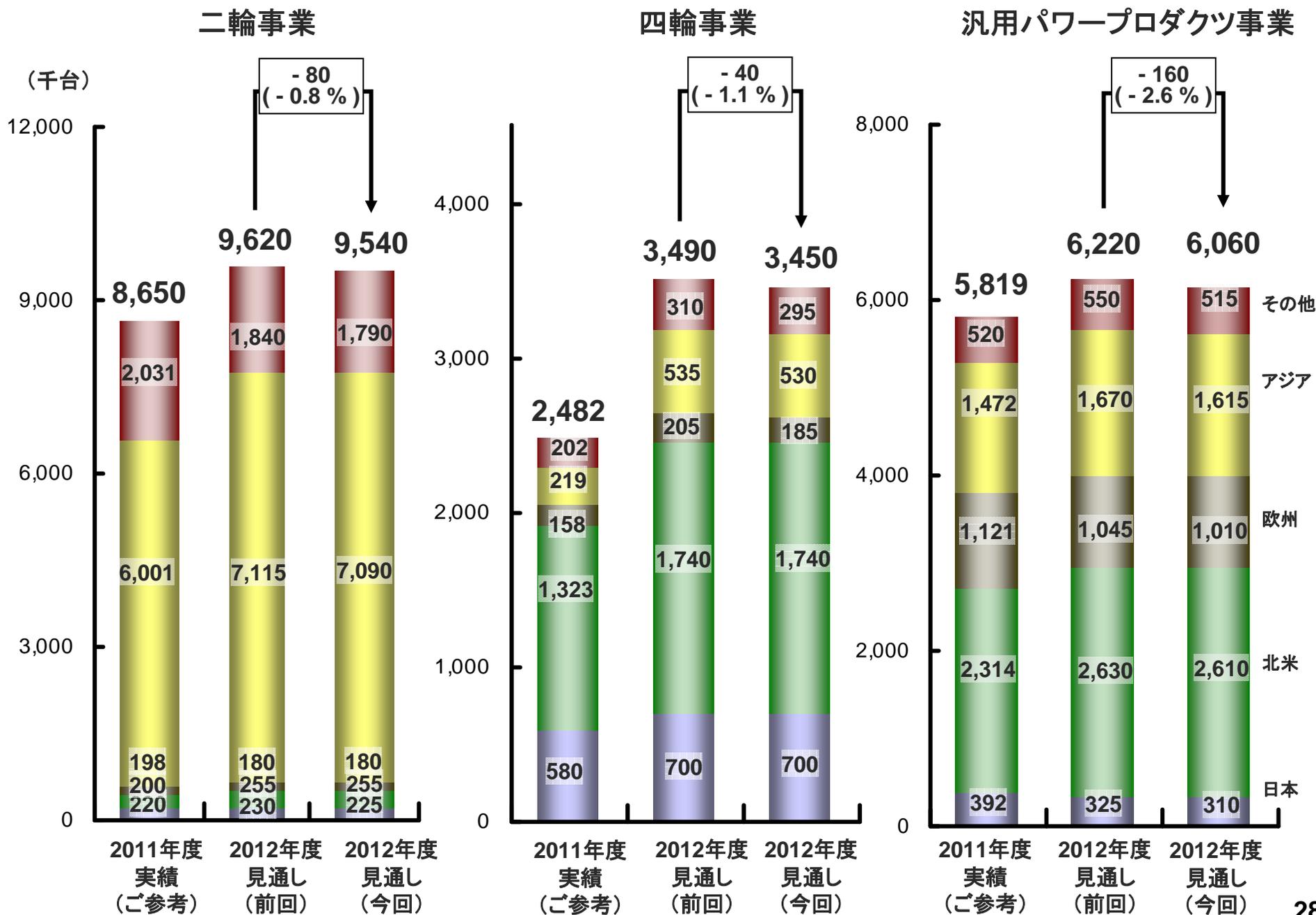
四輪事業



汎用パワープロダクツ事業



連結売上台数(見通し)



2012年度 通期 連結業績見通し

(億円)

	2011年度 実績	2012年度 (見通し)	増減		前回見通しからの 増減額
			額	率	
売上高	79,480	98,000	+ 18,519	+ 23.3%	-
営業利益	2,313	5,200	+ 2,886	+ 124.8%	-
税引前利益	2,574	5,150	+ 2,575	+ 100.1%	- 250
関連会社持分利益	1,004	800	- 204	- 20.3%	-
当社株主に帰属する 当期純利益	2,114	3,700	+ 1,585	+ 75.0%	- 50
1株当たり当社株主に 帰属する当期純利益	117.34 円	205.29 円	+ 87.95 円		

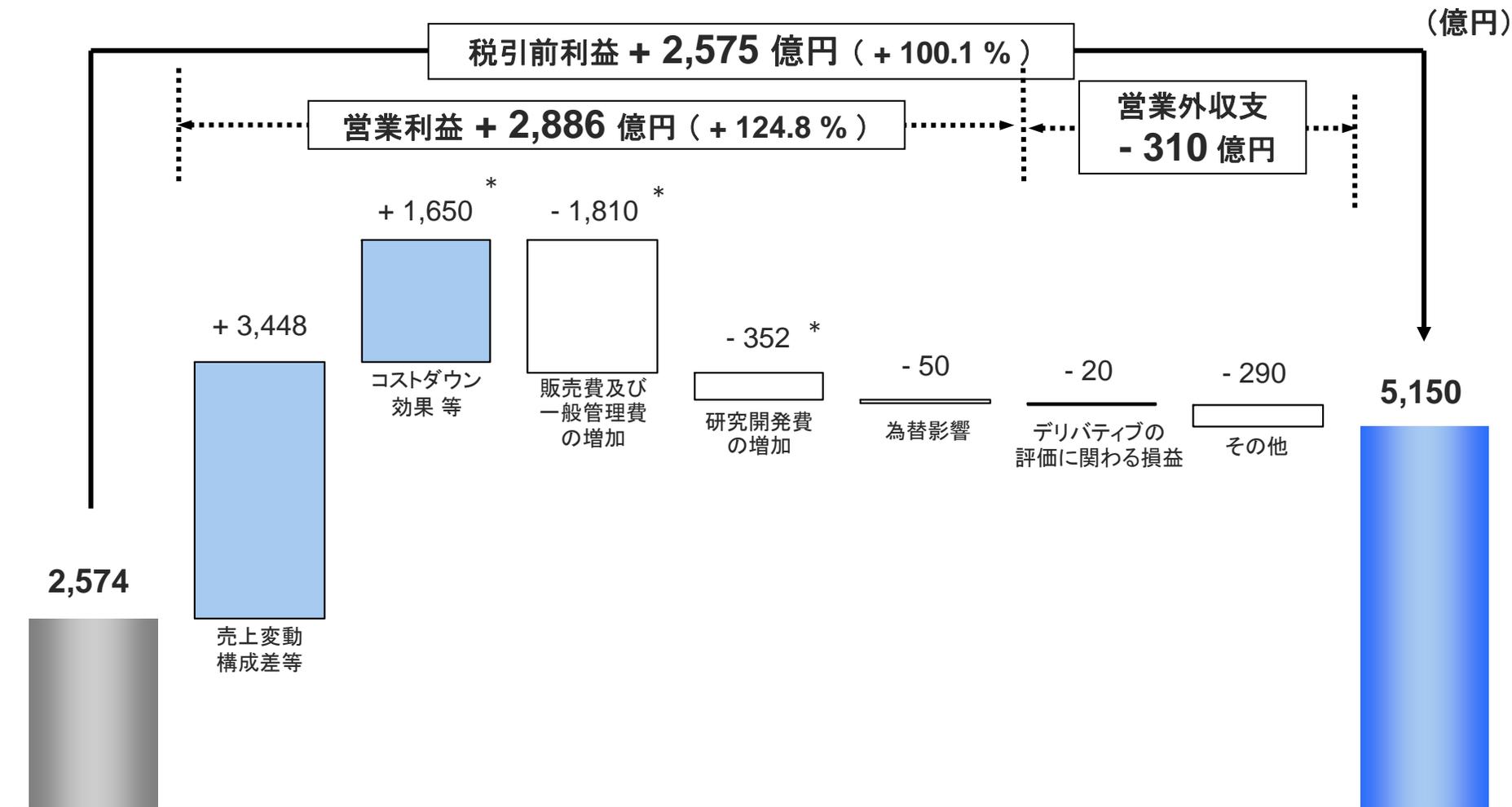
算定上の基礎となる株式数： 約1,802,300千株
(期中平均株式数)

約1,802,298千株
(期中平均株式数)

為替(売上)レート

米ドル	79 円	81 円 (上期 79 円/下期 83 円)	2 円 円安	1 円 円安
ユーロ	108 円	105 円 (上期 101 円/下期 108 円)	3 円 円高	2 円 円安

2012年度見通し 税引前利益増減要因

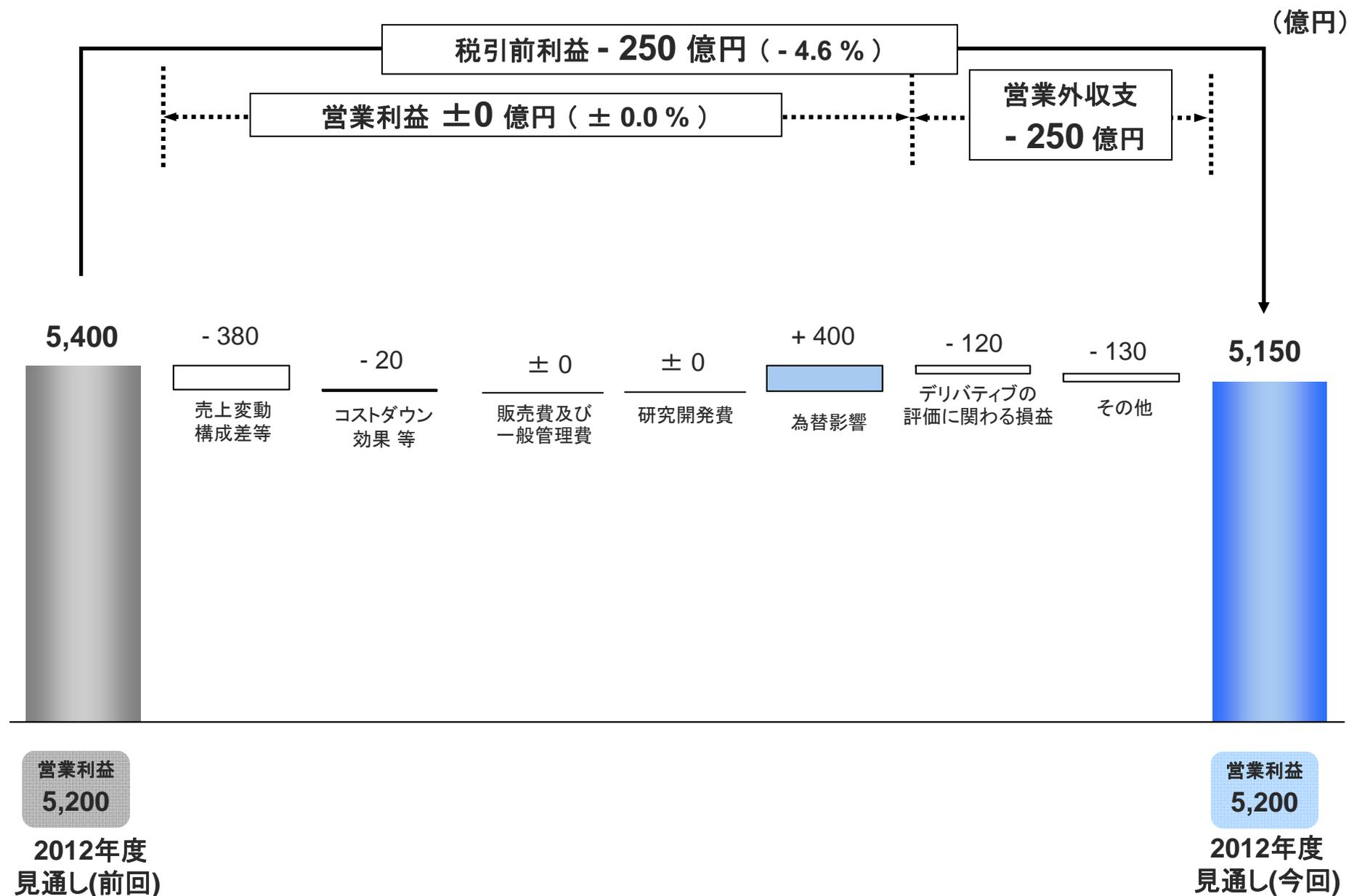


営業利益
2,313
2011年度
実績

* 減価償却費の定額法への変更影響 約 +400億円が含まれています。

営業利益
5,200
2012年度
見通し(今回)

2012年度見通し 税引前利益増減要因



2012年度 設備投資・減価償却費・研究開発費 見通し

(億円)

	2011年度 実績	2012年度 (見通し)	増減	前回見通しからの 増減額
設備投資 *	4,065	6,000	+ 1,935	-
減価償却費 *	2,937	2,850 **	- 87	-
研究開発費	5,198	5,550	+ 352	-

* オペレーティング・リースおよび無形固定資産に係る設備投資および減価償却費は、上記の実績、見通しには含まれていません。

** 2012年度より、減価償却費は定額法を採用しております。

将来見通しに関する注意事項:

このスライドに記載されている本田技研工業株式会社の業績見通しおよび配当予想は、現時点で入手可能な情報に基づき当社の経営者が判断した見通しであり、リスクや不確実性を含んでいます。従いまして、これらの業績見通しおよび配当予想のみに全面的に依拠して投資判断を下すことは控えるようお願いいたします。実際の業績は、様々な重要な要素により、これらの業績見通しとは大きく異なる結果となり得ることを、ご承知おき下さい。実際の業績に影響を与え得る重要な要素には、当社、連結子会社および持分法適用会社の事業領域をとりまく経済情勢、市場の動向、対米ドル、対ユーロをはじめとする円の為替レートなどが含まれます。

会計基準:

米国において一般に公正妥当と認められた会計原則に基づいて作成しています。

利益増減要因に関する注意事項:

このスライドに記載されている営業利益変動要因の各項目については、当社が現在合理的であると判断する分類および分析方法に基づいています。なお、一部の分析項目において、当社および主要な連結子会社を対象に分析しております。各項目の分析方法については、以下のとおりです。

- (1)「為替影響」については、海外連結子会社の財務諸表の円換算時に生じる「為替換算差」と外貨建取引から生じる「実質為替影響」について分析しております。なお、「実質為替影響」については、主な取引を対象に分析しており、米ドル、カナダドル、ユーロ、ポンド、ブラジルリアルなどの、対円および各通貨間における為替影響について分析しております。
- (2)「コストダウン効果等」については、当社および北米、欧州、アジアなどの生産を行う主要な海外連結子会社におけるコストダウン効果や原材料価格の変動影響などを対象に分析しております。
- (3)「売上変動及び構成差等」については、売上高の変化や機種構成の変化に伴う利益の変動に加え、その他の売上総利益の変化要因を対象にして分析しております。
- (4)「販売費及び一般管理費」については、販売費及び一般管理費の前年度との差から、当該科目に影響する「為替換算差」を除いて表示しております。

= 為替影響額(実質影響/為替換算差) =

(別紙1)

(億円)

	第3四半期 (3カ月間) 影響額	第3四半期 売上レート			9カ月間 累計 影響額
		2011年度 実績	2012年度 実績	レート差	
円対米ドル	+ 134	77 円	81 円	4 円 円安	+ 128
円対ユーロ	- 0	105 円	106 円	1 円 円安	- 37
円対他通貨	- 24	—	—	—	- 151
他通貨間	- 70	—	—	—	- 148
売上レート差 *1 (営業利益段階)	+ 38	*1: 外貨建て売上高を計上する際のレートの 前年同期との差			- 210
売上/入金レート差 *2 (営業外収支)	- 88	*2: 外貨建て売上高を計上する際のレートと その売上が入金される際のレートが 異なることにより生じる差額の前年同期との差			- 190
実質為替影響	- 49				- 400
為替換算差 *3 (営業利益段階)	+ 87	*3: 外貨建て個別財務諸表を連結する際に 使用する円換算レートの前年同期との差			- 5
合 計	+ 37				- 406

= デリバティブの評価に関わる損益 =

(別紙2)

(億円)

	第3四半期 (3カ月間)		
	2011年度 実績	2012年度 実績	増減額
為替ヘッジ 評価損益	- 52	- 531	- 478
金利 / 通貨 スワップ	+ 62	- 13	- 75
その他	+ 0	- 1	- 2
合計	+ 10	- 545	- 556

	第3四半期累計 (9カ月間)		
	2011年度 実績	2012年度 実績	増減額
	+ 85	- 284	- 370
	+ 183	- 14	- 197
	+ 4	- 0	- 4
	+ 273	- 299	- 572

HONDA
The Power of Dreams